

令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人日本タッチ・コミュニケーション協会

1. 事業実施の成果(目的・成果・課題)

(1) タッチ・コミュニケーション一般向け普及事業

(目的) 全ての方々、とりわけ将来を担う子どもたちの心と体の健康増進の目的でタッチ・コミュニケーションプログラムを広く社会に提唱するため。

(成果) 【講演会】主催事業の年1度の教育講演会は、コロナ禍のなかで少人数で行なった。

委託事業は青少年健全育成広島県民会議の総会で講演。安芸高田市ではゲートキーパーの講演を2回行なった。

【実践講座】主催事業は、レジリエンス教育の実践編として「タッチ・コミュニケーションを深める会」を年12回開催。産科での育児支援事業は休止。古民家でのコミュニティ交流会で、タッチ・コミュニケーションの実践を行なった。

【メンタルヘルスクエア】主催はなし。委託は、安芸高田市で職員のメンタルヘルスカウンセリングを年13回受託した。

(課題) コロナ禍の影響で産科での育児支援が休止、主に産科の受益者を対象にした主催事業が集客困難となり、厳しい運営を強いられた。

(2) タッチ・コミュニケーション指導者育成事業

(目的) タッチ・コミュニケーションを普及することができる指導者養成とそのフォローアップを12回行なうため。

(成果) 大人向けタッチ・コミュニケーションのフォローアップ講座を12回実施。

(課題) コロナ禍で集客が難しかった。

(3) タッチ・コミュニケーションの会報事業

(目的) 当法人の活動を広く社会に提唱、普及するため。

(成果) メールマガジンの配信年5回。

(課題) 共同募金の寄付金を予算に会報誌を発行してきたが、若い世代に向けての発信方法を検討しSNSに切り替える必要がある。

(5) 幼児虐待予防のための子育て支援活動事業

(目的) 育児不安や育児疲労などを要因に起こる子ども虐待を予防し、さらに自己肯定感の高い健全な次世代育成に繋げるため。

(内容) 育児支援、ストレスケアの講座を全53回開催。

(課題) コロナ禍で児童虐待の増加が懸念され、育児支援プログラムの普及が急がれる中、チラシ配布などの告知では集客が難しかった。

(4)、(6)、(7)、(8)は実施していません。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施回数	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者		事業費の金額(円)
					範囲	人数(人)	
(1) タッチ・コミュニケーション一般向け普及事業	0. 講演会	主 教育講演会 6/12 1回	広島市	1	生涯学習に関心のある市民	15	40,000
		委 青少年健全育成広島会議 6/17 1回	広島県内	3	一般市民 他	173	
		ゲートキーパー 1/31,2/6 2回					
	1. 実践講座	主 タッチ・コミュニケーションを深める会 12回	広島市他	12	一般市民 他	49	0
		委 産婦人科 0回、幼稚園、公民館他 1回	広島市(古民家)	3	親子・一般市民	15	
	2. メンタルヘルスクエア	主 -	-	-	-	-	289,749
委 毎月第2月曜 12回/年 カウンセリング 新規採用・新任管理職員 カウンセリング 1回		安芸高田市	26	一般市民 他	85		
(2) タッチ・コミュニケーション指導者育成事業	主 指導者養成 12回	広島市他	13	一般市民 他	30	624,261	
	委 -	-	-	-	-		
(3) タッチ・コミュニケーションの会報事業	主 メールマガジン配信 5回 会報誌 1回			10	不特定多数	-	0
(4) ファミリーケアとしてのタッチ・コミュニケーション事業	実施していません。			-	-	-	-
(5) 幼児虐待予防のための子育て支援事業	主	親子のタッチ・コミュニケーション講座 18回 子育てのための心理学講座 2回 癒しのヨーガ 33回 全53回	中区 中区 中区	75	子育て中の親・親子・一般市民	247	962,324
(6) 地域の育児サークルの活性化事業	実施していません			-	-	-	-
(7) 地域の老人と子どもを結ぶタッチ・コミュニケーション事業	実施していません			-	-	-	-
(8) 家庭円満のためのタッチ・コミュニケーション事業	実施していません			-	-	-	-
合計				143	-	614	1,916,334

(2) その他事業 今年度は、その他事業は実施していません。